

第29回 圧力容器規格委員会 議事録

I. 日時： 平成30年7月23日（月） 14:00～16:30

II. 場所： 高圧ガス保安協会 第1、第2会議室

III. 出席者（順不同、敬称略）：

委員長：小林

副委員長：辻

委員：鴻巣、坂倉、大江、寺田、後藤、井川、永井、矢野、阿部

アソシエート：－

K H K：別府、加藤、富岡、磯村、小山田、梶山、小池

傍聴者：荒島、佐藤

IV. 議題：

- (1) 委員長の互選及び副委員長の指名
- (2) 前回議事録確認
- (3) 圧縮水素蓄圧器用複合圧力容器に関する基準の審議
- (4) 超高圧ガス設備に関する基準の審議（超高圧ガス設備分科会の開催について）
- (5) 安全係数2.4の特定設備に関する基準の審議
- (6) 技術基準整備計画（3ヶ年計画）の審議
- (7) その他

V. 配布資料：

- 29資料1 圧力容器規格委員会 委員名簿（平成30年7月1日）
- 29資料2 第28回圧力容器規格委員会 議事録（案）
- 29資料3 圧縮水素蓄圧器用複合圧力容器に関する基準のパブリックコメント対応について
- 29資料4 超高圧ガス設備分科会の開催について
 - 添付資料1 最適疲労曲線及び設計疲労曲線の見直しについて
 - 添付資料1-1 超高圧ガス設備に関する基準の疲労解析及び附属書V 抜粋
 - 添付資料1-2 設計疲労曲線の策定に係る調査（Phase2）報告書概要 抜粋
 - 添付資料2 高圧水素に対応する疲労、亀裂進展等の規定の見直しについて
 - 添付資料2-1 ASME Sec VIII Div3 (2017) KD-10 抜粋
 - 添付資料2-2 JPEC TD 0003 (2017) 抜粋
 - 添付資料3 超高圧ガス設備に関する基準への KHKTD5202 の取り込みに係る修正案
 - 添付資料4 超高圧ガス設備に関する基準の引用規格の修正案
- 29資料5 安全係数2.4の特定設備に関する基準の見直しについて
 - 添付資料1 安全係数2.4の特定設備に関する基準の修正案
 - 添付資料2 安全係数2.4の特定設備に関する基準の引用規格の修正案
- 29資料6 技術基準整備3ヶ年計画（平成30～平成32年度計画）（案）
 - 参考資料1 技術基準整備3ヶ年計画（平成29～平成31年度計画）
- 29資料7 ASME Delegate 活動報告

VI. 議事概要：

新任となった委員の紹介を行い、出席人数を確認して委員会の成立条件を満足することを確認した後、以下に示す議題の審議を行った。

1. 議題（1）委員長の互選及び副委員長の指名

事務局より委員長の互選及び副委員長の指名を行った。委員長は互選により小林委員に決定した。副委員長は小林先生の指名により辻委員に決定した。

2. 議題（2）前回議事録確認

29資料2に基づき、事前送付した第28回委員会議事録（案）を確認した。
特段のコメントはなく、出席委員全員の賛成により議事録（案）は可決された。

3. 議題（3）圧縮水素蓄圧器用複合圧力容器に関する基準の審議

29資料3に基づき、圧縮水素蓄圧器用複合圧力容器に関する基準のパブリックコメント対応について説明を行った。これについて、以下の意見交換があった。

1) ピンホール検出器による検査は一般に普及しているのか。

→ 一般に普及している。また、規定上はピンホール検出器等としており、目視での検査も認めている。

以上の審議の結果、圧縮水素蓄圧器用複合圧力容器に関する基準のパブリックコメント対応に係る以下の事項について、出席委員全員の賛成により決議された。

- ・ 書面投票の実施及び期間（15日）並びにパブリックコメントの再実施及び期間（15日）

4. 議題（4）超高压ガス設備に関する基準の審議（超高压ガス設備分科会の開催について）

29資料4に基づき、超高压ガス設備分科会の開催について説明を行った。これについて、以下の意見交換があった。

1) JPEC TD 003 (2017)は、KHKS0220に附属書としてそのまま取り込まれるのか。

→ JPEC TD 003 (2017)の対象はタイプ1の鋼製圧力容器であるため、KHKS0220に取り込むことを予定している。取り込み方については分科会で検討する。

2) タイプ2の複合蓄圧器は、KHKS0220とKHKS0225のどちらの基準に取り込むのか。

→ どの基準に取り込むかは、分科会にて検討する。

3) 分科会での検討の進捗等について、圧力容器規格委員会への中間報告はないのか。

→ 中間報告は行うこととする。なお、日程は進捗状況に応じて調整する。

4) 分科会で検討する事項は複数あるが、すべて並行して検討するのか。

→ 検討する。検討状況に応じて分科会の回数を増やす可能性もある。

5) KHKTD5201の内容については、KHKS0220に取り込む際に検討されるのか。

→ 検討する。内容についても分科会で検討する。

以上の審議の結果、超高压ガス設備分科会の開催について、出席委員全員の賛成により決議された。なお、分科会の委員については、事務局が選任した後、メールにて報告することとなった。

5. 議題（5）安全係数 2.4 の特定設備に関する基準の審議

29資料5に基づき、安全係数 2.4 の特定設備に関する基準の改定について説明を行った。これについて、以下の意見があった。

- 1) ASME Sec. VIII Div. 2 は、単に圧力を無制限とはしておらず、高圧に対して配慮すべきことが規定されている。KHKS0224 で圧力制限 70MPa を撤廃するのであれば、同様の規定が必要なのでは。
- 2) KHKS0224 には、ASME Sec. VIII Div. 2 のクラス分け及び解析による設計の基準が含まれていないが、現行の KHKS0224 のままで需要はあるのか。
- 3) KHKS0224 の圧力制限を撤廃する理由は、圧縮水素スタンド用の設備に適用するためとあるが、その需要がないのであれば、圧力制限の撤廃は不要ではないか。また、現行の圧力制限 70MPa を超える場合は、KHKS0220 を適用する方が適切である。

以上の審議の結果、安全係数 2.4 の特定設備に関する基準の改定は再検討することとなった。事務局は圧力制限の撤廃に係る事項を削除した修正案を作成し、その内容について次回の圧力容器規格委員会で議論する。

6. 議題（6）技術基準整備 3 ヶ年計画の審議

29資料6に基づき、平成 30 年度から平成 32 年度までの技術基準整備計画の説明を行った。審議の結果、技術基準整備 3 ヶ年計画（平成 30～平成 32 年度計画）は、出席委員全員の賛成により可決された。

7. 議題（7）その他

（1）ASME Delegate 活動報告

29資料7に基づき、ASME Delegate 活動報告として、ASME Sec. VIII の改正動向について説明を行った。これに対し特段の意見はなかった。

（2）次回委員会等

次回委員会は、別途調整することとした。

以上